



# 決算ハイライト

---

## 2026年3月期決算について



# 目次

---

1. 2026年3月期決算の概要	P. 1
2. 2026年3月期 単体損益の状況	P. 2
3. 資金利益の状況	P. 3
4. 与信費用・不良債権の状況	P. 4
5. 貸出金の状況	P. 5
6. 預金等の状況	P. 6
7. 有価証券の状況	P. 7
8. 2027年3月期 業績予想	P. 8

(注) 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。  
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。  
将来の業績は、経営環境の変化等により変動する可能性があることにご留意ください。

(注) 本資料の増減額(率)につきましては、本資料上の開示単位にて算出しております。

## 1. 2026年3月期連結経営成績

	2026年3月期	2025年3月期	増減
連結経常収益	99,429	77,922	21,507
連結経常利益	14,710	11,088	3,622
親会社株主に帰属する当期純利益	10,595	7,555	3,040

## 2025年11月10日公表対比

(単位：百万円)

公表予想	予想比	
87,200	14.0%	12,229
13,700	7.4%	1,010
9,200	15.2%	1,395

## (参考)2027年3月期連結業績予想

(単位：百万円)

	2027年3月期	2026年3月期	増減
連結経常収益	97,500	99,429	▲ 1,929
連結経常利益	17,800	14,710	3,090
親会社株主に帰属する当期純利益	12,200	10,595	1,605

## 2. 2026年3月期経営成績

	2026年3月期	2025年3月期	増減
経常収益	86,610	65,808	20,802
(コア業務純益)	26,931	16,768	10,163
(除く投信解約損益)	20,153	13,203	6,950
経常利益	13,308	9,682	3,626
当期純利益	9,676	6,626	3,050

## 2025年11月10日公表対比

(単位：百万円)

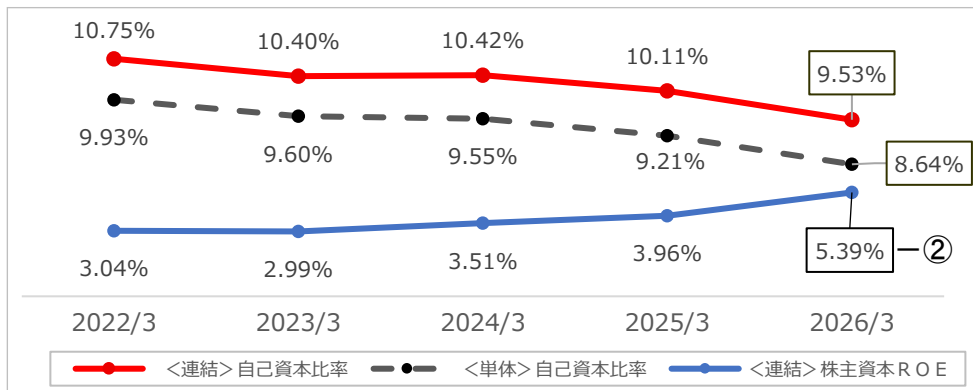
公表予想	予想比	
74,900	15.6%	11,710
19,000	41.7%	7,931
16,100	25.2%	4,053
12,400	7.3%	908
8,400	15.2%	1,276

## (参考)2027年3月期業績予想

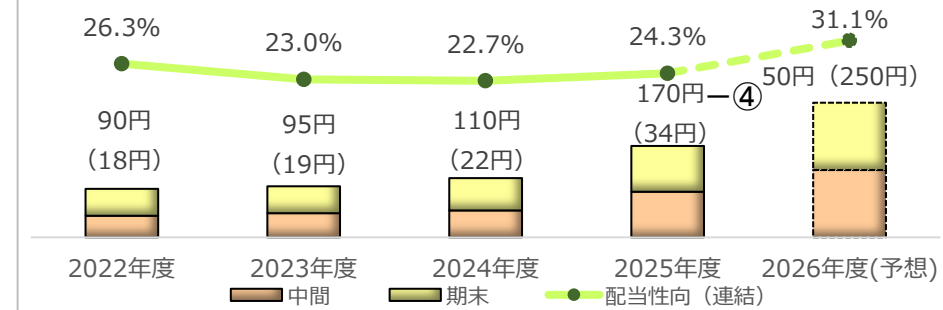
(単位：百万円)

	2027年3月期	2026年3月期	増減
経常収益	84,400	86,610	▲ 2,210
(コア業務純益)	18,300	26,931	▲ 8,631
(除く投信解約損益)	17,600	20,153	▲ 2,553
経常利益	16,400	13,308	3,092
当期純利益	11,300	9,676	1,624

## 3. 自己資本比率と株主資本ROEの推移



## 4. 配当の状況



(注) 2026年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2022年度から2025年度の括弧内の配当額は分割考慮後、2026年度(予想)の括弧内の配当額は分割考慮前の配当額で記載しております。

- ①連結は4期連続・単体は2期連続の増収増益決算。
- ②連結の当期純利益は過去最高益となる105億円、連結ROEは5.39%と、中計目標を1年前倒しで達成。
- ③本業の儲けを示す単体のコア業務純益(除く投信解約損益)は、前期比69億円増加の201億円(増減率+52.6%)を計上。
- ④配当は、利益配分の基本方針に基づき、年間170円(期末85円)を予定。

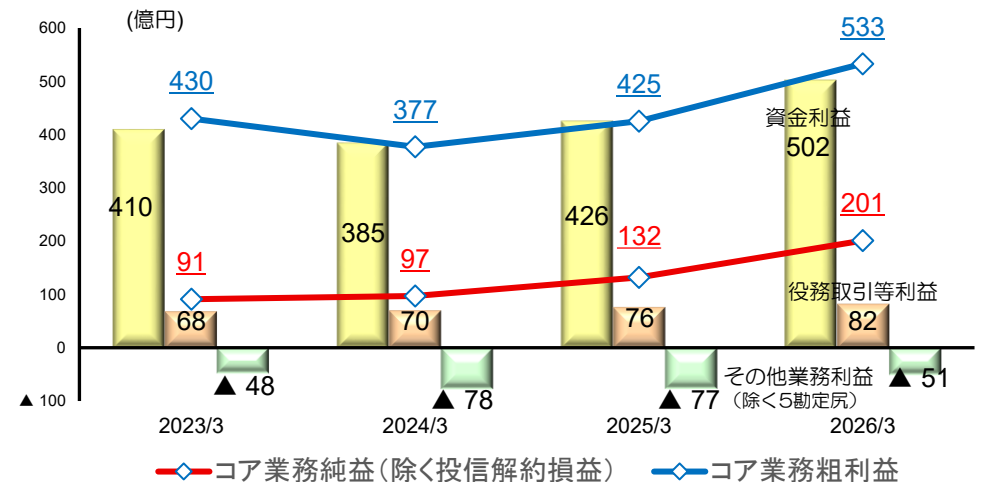
(単位：百万円)

	2026年 3月期	2025年3月期比	増減率	2025年 3月期
経常収益 ①	86,610	20,802	31.6%	65,808
コア業務粗利益 (③+④+⑤) ②	53,399	10,882	25.6%	42,517
資金利益 ③	50,241	7,605		42,636
資金運用収益	63,965	15,169		48,796
資金調達費用	13,728	7,565		6,163
役務取引等利益 ④	8,271	612		7,659
役務取引等収益	10,574	673		9,901
役務取引等費用	2,302	61		2,241
その他業務利益 (除く5勘定戻) ⑤	▲ 5,114	2,663		▲ 7,777
その他業務収益 ( // )	-	-		-
その他業務費用 ( // )	5,114	▲ 2,663		7,777
経費 (除く臨時費用処理分) ⑥	26,468	719		25,749
コア業務純益 (②-⑥) ⑦	26,931	10,163	60.6%	16,768
除く投資信託解約損益	20,153	6,950	52.6%	13,203
与信費用 ⑧	738	95		643
一般貸倒引当金繰入額	707	220		487
個別貸倒引当金繰入額	▲ 57	▲ 217		160
その他	88	92		▲ 4
有価証券関係損益 ⑨	▲ 13,555	▲ 7,013		▲ 6,542
国債等債券損益 (5勘定戻)	▲ 23,900	▲ 12,042		▲ 11,858
株式等損益 (3勘定戻)	10,345	5,029		5,316
その他臨時損益 ⑩	675	574		101
経常利益 (⑦-⑧+⑨+⑩) ⑪	13,308	3,626	37.5%	9,682
特別損益	▲ 158	▲ 126		▲ 32
税引前当期純利益	13,149	3,500		9,649
法人税等合計	3,473	450		3,023
当期純利益 ⑫	9,676	3,050	46.0%	6,626
OHR (コア業務粗利益ベース)	49.56	▲ 11.00		60.56

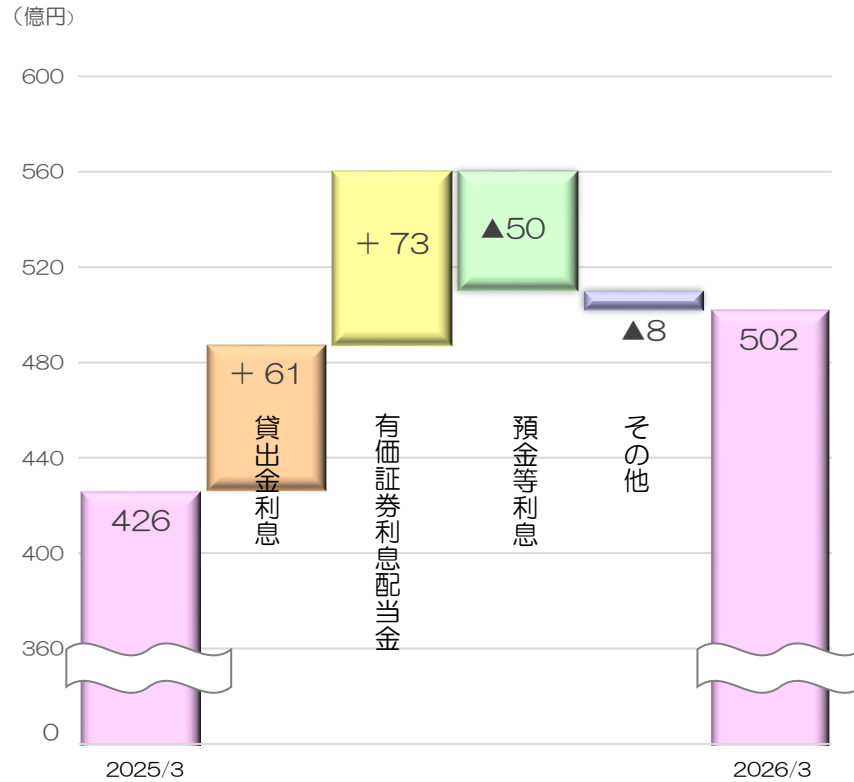
## 【主な増減要因等】

③資金利益 (前期比+7,605百万円)	預金等利息が増加したものの、有価証券利息配当金や貸出金利息等が大幅に増加。
④役務取引等利益 (前期比+612百万円)	お取引先のニーズに応じたソリューション営業強化による融資関連手数料や証券仲介手数料等が増加。
⑥経費 (前期比+719百万円)	将来成長に向けた戦略的なIT投資により増加。OHRはコア業務粗利益の増加により11ポイント改善。
⑧与信費用 (前期比+95百万円)	お取引先に対する継続的かつ積極的な支援を行ったことにより増加。
⑨有価証券関係損益 (前期比▲7,013百万円)	将来収益の観点でポートフォリオのリバランスを実施したことから減少。
⑫当期純利益 (前期比+3,050百万円)	コア業務純益の増加により前期比46.0%の増益。

## コア業務粗利益等の推移



## 資金利益の増減要因



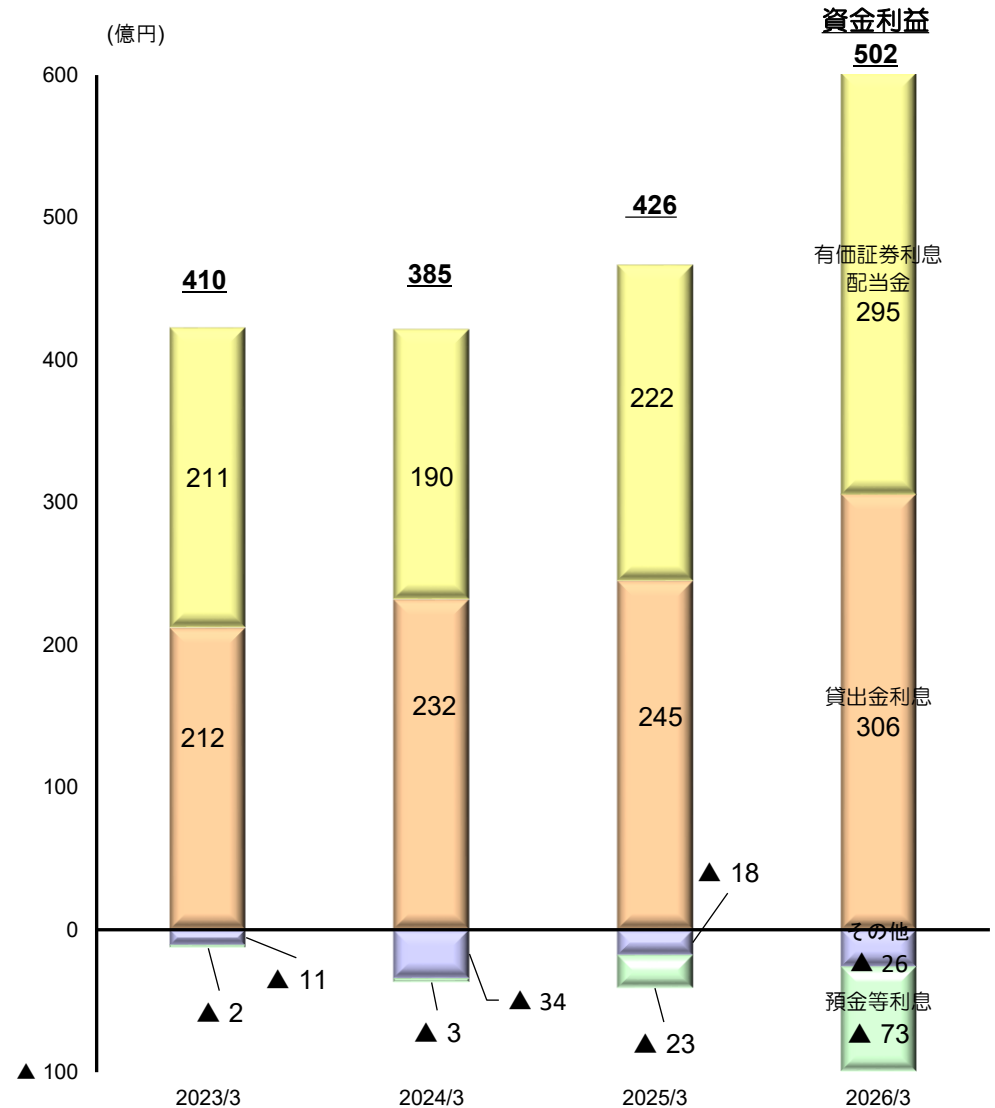
【貸出金利息と有価証券利息配当金の増減分析】 (単位：百万円)

	増減額	増減要因	
		平残要因	利回要因
貸出金利息	6,097	1,972	4,125
有価証券利息配当金	7,326	▲710	8,036

【有価証券利息配当金の内訳】 (単位：百万円)

	2026年3月期	増減	2025年3月期
有価証券利息配当金	29,583	7,326	22,257
うち投信解約損益	6,777	3,212	3,565

## 資金利益の内訳推移

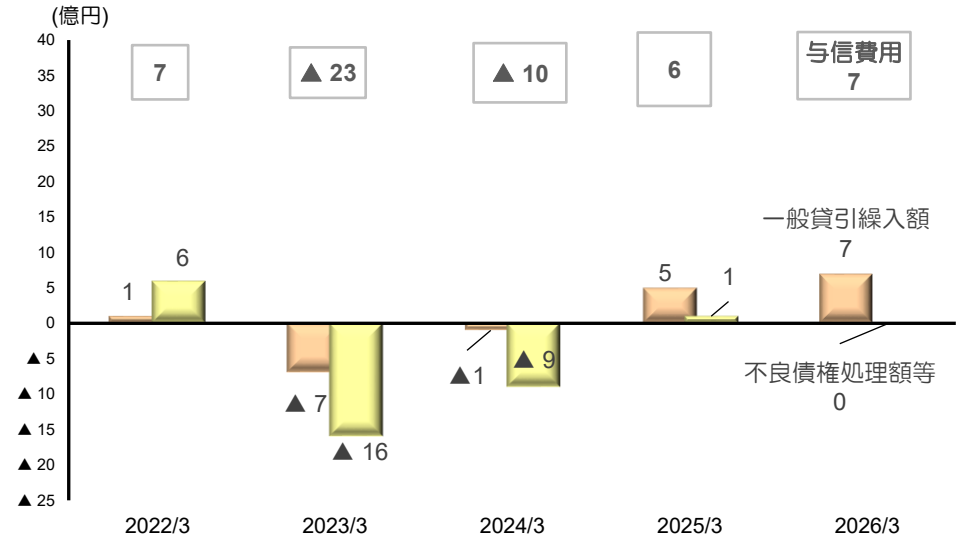


## 与信費用

	2026年3月期	2025年3月期	増減
与信費用	738	643	95
一般貸倒引当金繰入額	707	487	220
不良債権処理額	31	156	▲125
貸出金償却	65	—	65
個別貸倒引当金繰入額	▲57	160	▲217
延滞債権等売却損	—	—	—
その他	23	▲4	27
貸倒引当金戻入益	—	—	—
償却債権取立益	0	0	0

(注) 与信費用＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－貸倒引当金戻入益－償却債権取立益

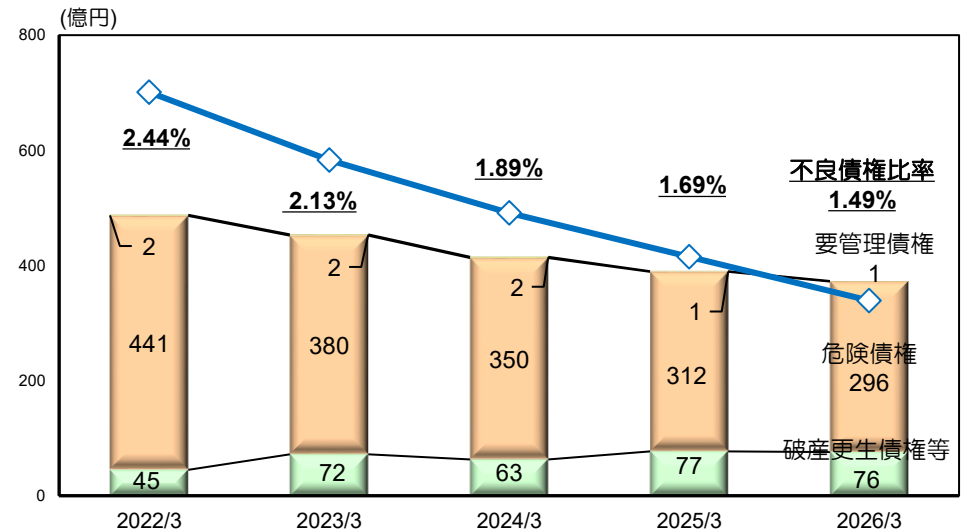
1. 一般貸倒引当金繰入額は、引当率の上昇等により7億7百万円の繰入。
2. 個別貸倒引当金繰入額は、お取引先の債務者区分の変動等により57百万円の取崩。



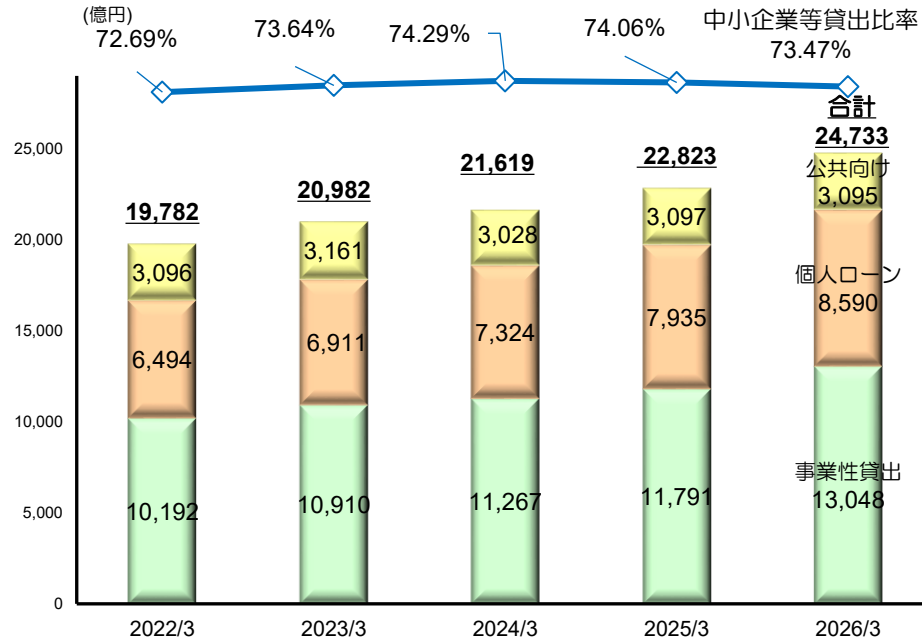
## 金融再生法開示債権

	2026年3月末	2025年3月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	7,629	7,719	▲90
危険債権	29,579	31,241	▲1,662
要管理債権	111	131	▲20
小計	37,319	39,092	▲1,773
正常債権	2,466,680	2,271,001	195,679
合計	2,504,000	2,310,094	193,906
不良債権比率(%)	1.49	1.69	▲0.20

1. 金融再生法開示債権残高は、前期末比で17億73百万円減少。
2. 不良債権比率は、前期末比0.20%低下。

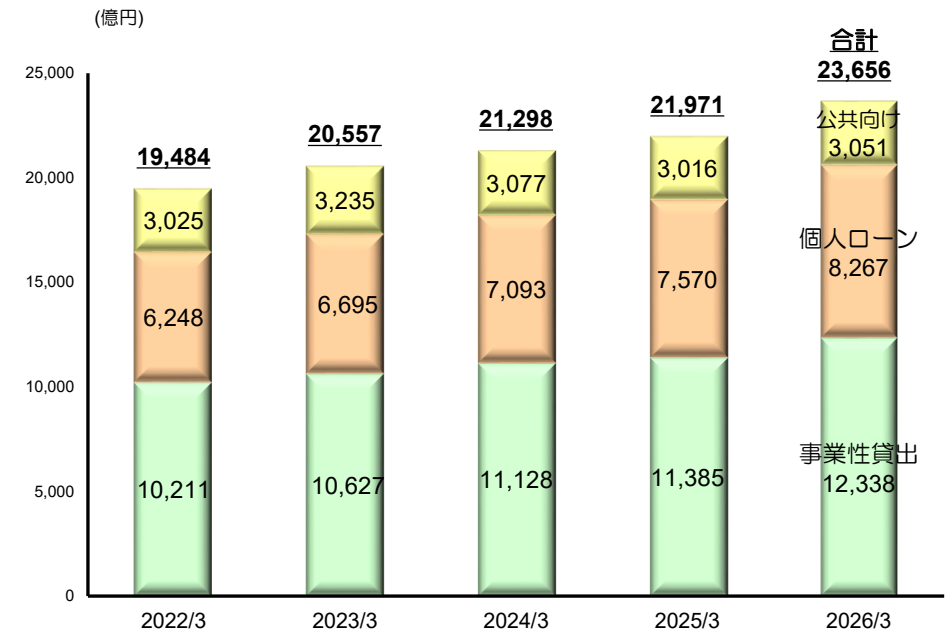


## 貸出金末残推移



	2026年 3月末	2025年9月末比				2025年 9月末	2025年 3月末
		2025年9月末比		2025年3月末比			
		増減率	増減額	増減率	増減額		
総貸出金	24,733	4.3%	1,036	8.3%	1,910	23,697	22,823
事業性貸出金	13,048	5.7%	709	10.6%	1,257	12,339	11,791
県内	7,709	4.1%	310	5.5%	408	7,399	7,301
県外	5,339	8.0%	399	18.9%	849	4,940	4,490
個人ローン	8,590	3.3%	277	8.2%	655	8,313	7,935
公共向け	3,095	1.6%	50	▲0.0%	▲2	3,045	3,097

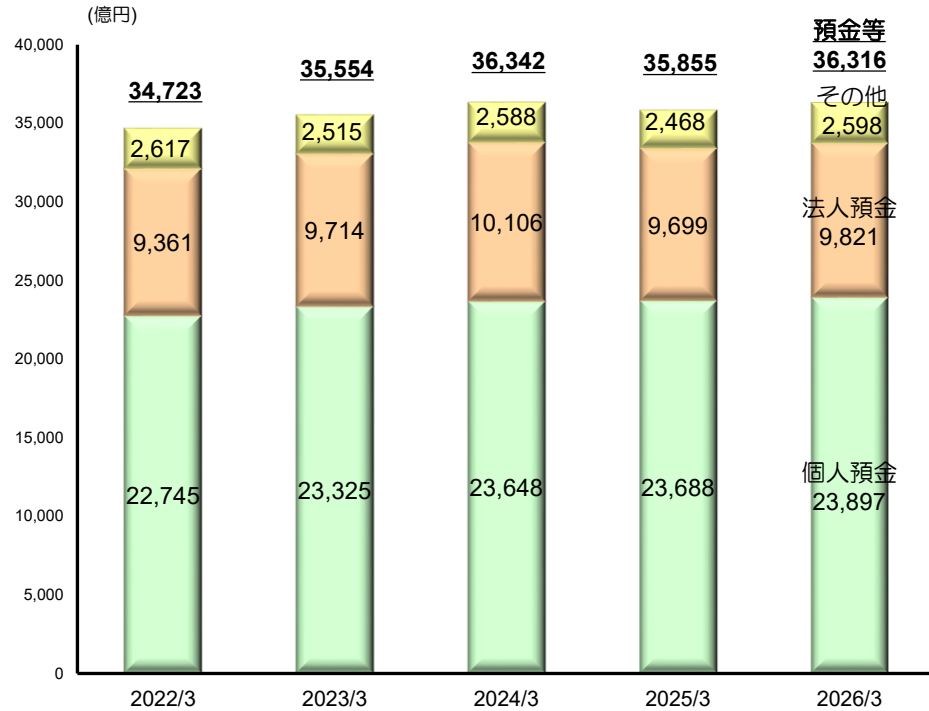
## 貸出金平残推移



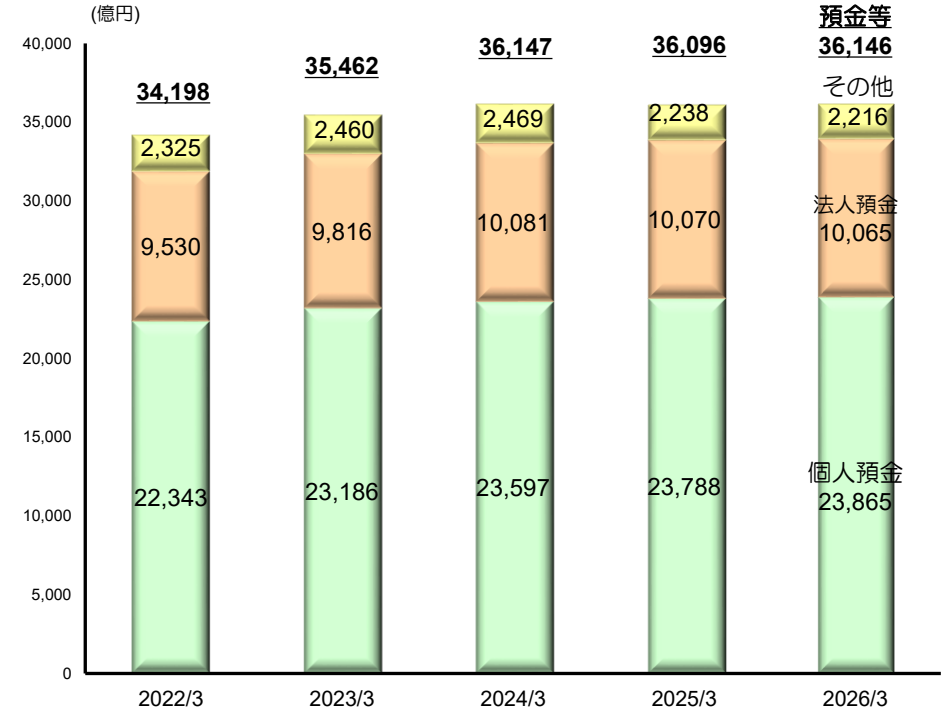
	2026年 3月末	2025年9月末比				2025年 9月末	2025年 3月末
		2025年9月末比		2025年3月末比			
		増減率	増減額	増減率	増減額		
総貸出金	23,656	2.4%	559	7.6%	1,685	23,097	21,971
事業性貸出金	12,338	3.2%	388	8.3%	953	11,950	11,385
県内	7,479	1.6%	119	3.3%	242	7,360	7,237
県外	4,859	5.8%	269	17.1%	711	4,590	4,148
個人ローン	8,267	2.2%	179	9.2%	697	8,088	7,570
公共向け	3,051	▲0.2%	▲8	1.1%	35	3,059	3,016

- 総貸出金（末残）は、事業性貸出金及び個人ローンの増加により、前期末比1,910億円増加し、2兆4,733億円（増加率8.3%）。
- 個人ローン（末残）は、住宅ローンが増加したことから、前期末比655億円増加し、8,590億円（増加率8.2%）。
- 事業性貸出金（末残）では、県内での金融仲介機能の発揮を目的としたバスケットファンドの推進に加え、ストラクチャード・ファイナンスへの取り組み強化及び東京・大阪地区での貸出金増強等により前期末比1,257億円増加し、1兆3,048億円（増加率10.6%）。
- 中小企業等貸出比率（末残）は、東京・大阪地区での「リスクアセットとリターンを意識した貸出」の増強により前期末比0.59%低下し73.47%。

## 預金等末残推移



## 預金等平残推移



(単位：億円)

	2026年 3月末	2025年9月末比		2025年3月末比		2025年 9月末	2025年 3月末
		増減率	増減額	増減率	増減額		
預金等	36,316	1.8%	650	1.2%	461	35,666	35,855
個人預金	23,897	0.8%	201	0.8%	209	23,696	23,688
法人預金	9,821	0.2%	21	1.2%	122	9,800	9,699
その他	2,598	19.7%	428	5.2%	130	2,170	2,468

(単位：億円)

	2026年 3月末	2025年9月末比		2025年3月末比		2025年 9月末	2025年 3月末
		増減率	増減額	増減率	増減額		
預金等	36,146	▲0.8%	▲303	0.1%	50	36,449	36,096
個人預金	23,865	0.1%	38	0.3%	77	23,827	23,788
法人預金	10,065	▲0.7%	▲74	▲0.0%	▲5	10,139	10,070
その他	2,216	▲10.7%	▲267	▲0.9%	▲22	2,483	2,238

1. 預金等（末残）は、個人顧客層への継続的なキャンペーンの実施や法人顧客層へのメイン強化等の積極的な預金推進効果により個人預金、法人預金、その他とも増加し、3兆6,316億円（前期末比+461億円、増加率1.2%）。
2. 預金等（平残）は、個人預金が上記キャンペーン効果等により増加し、3兆6,146億円（前期末比+50億円、増加率0.1%）となりましたが、法人預金は原材料高や人件費上昇など法人顧客のコスト増加影響もあり、ほぼ横ばい。

## 有価証券未残

(単位：億円)

	2026年3月末			2025年9月末	2025年3月末
	2025年9月末比	2025年3月末比			
有価証券	12,924	▲ 730	▲ 487	13,654	13,411
国債	2,081	▲ 56	▲ 21	2,137	2,102
地方債	2,359	▲ 518	▲ 453	2,877	2,812
社債	1,842	▲ 220	▲ 361	2,062	2,203
株式	1,554	228	381	1,326	1,173
その他	5,088	▲ 164	▲ 33	5,252	5,121
外国証券	2,928	▲ 12	660	2,940	2,268
投資信託等	2,160	▲ 152	▲ 693	2,312	2,853

1. 有価証券は、バランスシートの最適化を進めており、アセットアロケーションを意識したリバランスの実施により、国債、地方債、社債およびその他を抑制したことから、前期末対比で487億円減少。

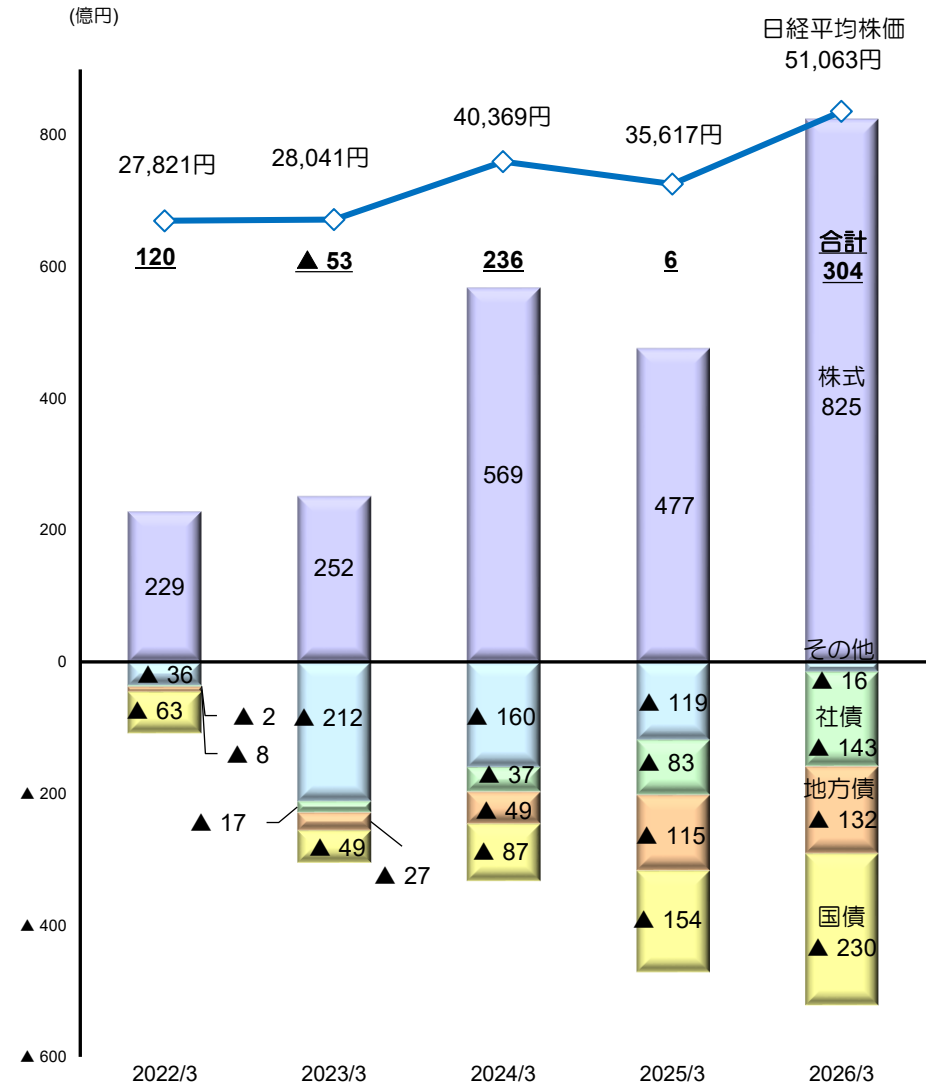
## 有価証券の評価損益

(単位：億円)

	2026年3月末			2025年3月末			増減 評価損益 (A)-(B)
	評価損益 (A)	評価益	評価損	評価損益 (B)	評価益	評価損	
株式	825	831	5	477	494	16	348
債券	▲ 505	0	505	▲ 352	0	352	▲ 153
その他	▲ 16	87	103	▲ 119	42	160	103
外国証券	▲ 33	8	41	▲ 28	4	32	▲ 5
投資信託等	17	79	61	▲ 91	37	128	108

2. 株式の評価損益が堅調に推移したことから、有価証券の評価損益全体では前期末比298億円増加。

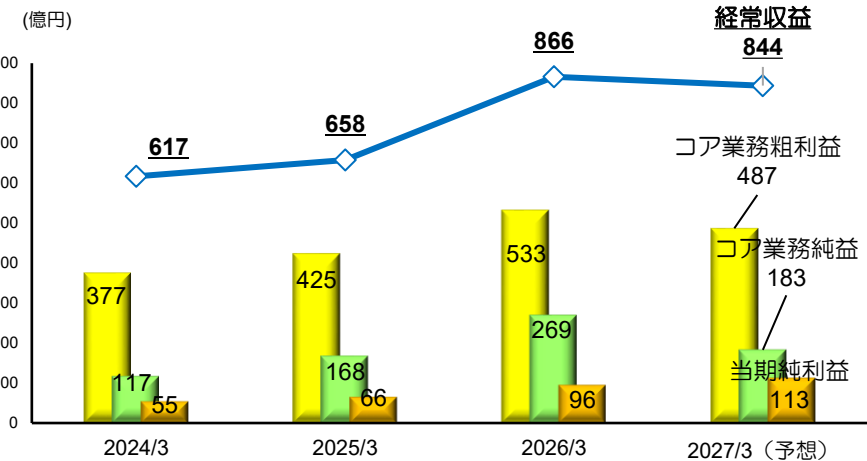
## 有価証券評価損益の推移



- (1) 連結・単体ともに過去最高益(単体は22年ぶり※)を予想。 ※22年前(2004年度)は厚生年金基金の代行返上による影響額36億円あり
- (2) 経常収益は、貸出金利息は増加するものの、投信解約損益や株式等売却益の反動減により減収となる見込み。
- (3) 一方、経常費用では預金利息や経費等の増加を見込んでいるものの、国債等債券損益(5勘定戻)の改善が予想されることから、経常利益および当期純利益は増益となる見込み。

## 【単体】

	(単位：億円)		
	2027年3月期予想	2026年3月期実績	増減
経常収益	844	866	▲ 22
コア業務粗利益	487	533	▲ 46
資金利益	456	502	▲ 46
役務取引等利益	78	82	▲ 4
その他業務利益(除く5勘定戻)	▲ 47	▲ 51	4
経費(除く臨時費用処理分)	303	264	39
コア業務純益	183	269	▲ 86
除く投信解約損益	176	201	▲ 25
業務純益	117	23	94
国債等債券損益(5勘定戻)	▲ 65	▲ 239	174
株式等損益(3勘定戻)	42	103	▲ 61
与信費用	14	7	7
うち一般貸倒引当金繰入額	1	7	▲ 6
うち不良債権処理額	13	0	13
経常利益	164	133	31
当期純利益	113	96	17



## 【連結】

	(単位：億円)		
	2027年3月期予想	2026年3月期実績	増減
経常収益	975	994	▲ 19
経常利益	178	147	31
親会社株主に帰属する当期純利益	122	105	17

中計 2024 財務指標		目標値	2027年3月期予想
収益性指標	親会社株主に帰属する当期純利益	100 億円超	122 億円
	連結 ROE ※株主資本ベース	5.0%超	6.0%程度
健全性指標	連結自己資本比率	9.5%程度	9.5%程度
効率性指標	単体 OHR	65%程度	63%程度

※業績予想については、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。